

トノサマガエル

Rana nigromaculata (Hallowell)
無尾目・アカガエル科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

県内は減農薬栽培が増加し、一時よりは復活傾向であるが、過去より市街化近郊と圃場整備、暗渠用排水、早期中干し等の稲作栽培技術の変化等により生息環境が激変したため、大きく減少傾向がみられ、今後の動向に注意を要する。

種の特徴

体長 45 ～ 85 mm、背面は背中線と背側線をもち、短い不規則な隆条が並び、黒色斑紋が連続する。雌雄の体色は異なる。県内では、平野部～山麓部に生息し、4～6月に浅い湿地で繁殖する。稀に背中線がなく、時間がたつと顎や腹面側部の黒斑紋が消える個体もみられる。

分 布

関東地方から仙台平野を除く本州、四国、九州の広い範囲に分布する。県内では、海岸付近から市街化近郊、平野部、山麓部に広く分布する。

生息を脅かす要因

圃場整備によるコンクリート化や稲作栽培技術の変化、道路建設、土地開発等による生息環境の破壊や悪化、水質汚濁が生存の脅威である。繁殖地や幼生の水環境と同時に、成体の水辺の草地や森林を保全が重要である。

参考文献 守屋 (1955)、福田ら (2011)、川内ら (2006)、前田・松井 (1999)、環境省編 (2014)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1998)、京都府 (2002)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○